

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回7月の「てがたん」は7月11日(土)で「夏の水辺の生き物」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは7月4日(土)です。よろしくお願いいたします。

6月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼親水広場
- 観察日時/天気 2015年6月13日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加者 27人 (一般18人、子ども9人)
- 市民スタッフ 10人 (石原直子、伊東茂子、大嶽若緒、窪田憲史、小泉伸夫、染谷迪夫、竹本周平、古川克彌、松村定雄、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 1人 (村松和行)

観察記録 — 6月に観察した生き物リスト—

【鳥類】

キジ科：キジ/カモ科：コバクチョウ、カルガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/クイナ科：オオバン/キツツキ科：コゲラ/
 カラス科：ハシボソガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/
 ヨシキリ科：オオヨシキリ/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/アトリ科：カワラヒワ/外来種や家禽：ドバト

【昆虫・クモ】

チョウ・ガの仲間：ベニシジミ、アゲハ、モンシロチョウ、モンキチョウ/ハチ・ハエの仲間：フタモンアシナガバチ/
 トンボの仲間：コシアキトンボ/バッタの仲間：ショウリョウバッタ/甲虫の仲間：ハナムグリ (種不明) /
 クモの仲間：サツミノダマシ、ゴミグモ

【花】

キク科：ハルジオン、ヒメジョオン、ブタナ、ハハコグサ、オニノゲシ、ノゲシ、タチチコグサ/ラン科：ネジバナ/フウロソウ科：
 アメリカフウロ/ムラサキ科：ハナイバナ/オオバコ科：オオイヌノフグリ、オオバコ/シソ科：ホトケノザ/マメ科：シロツメクサ、
 ムラサキツメクサ/アヤメ科：ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ、トキワハゼ/アカバナ科：コマツヨイグサ、アカバナユウゲショウ/
 アブラナ科：スカシタゴボウ、イヌガラシ、ナズナ/カタバミ科：カタバミ、アカカタバミ/ヒユ科：イヌビエ、ナガエツルノゲイトウ/
 スベリヒユ科：スベリヒユ/ナデシコ科：ノミノツツリ/イグサ科：クサイ、スズメノヤリ/クマツヅラ科：クマツヅラ/ツユクサ科：ツユクサ/
 ヒルガオ科：ヒルガオ/オトギリソウ科：キンシバイ、ビヨウヤナギ/トウダイグサ科：アカメガシワ/メギ科：ナンテン/ブナ科：マテバシイ/
 キョウチクトウ科：キョウチクトウ/クスノキ科：クスノキ/スイカズラ科：アベリア

【イネ科植物】

コバンソウ、スズメノカタビラ、スズメノチャヒキ、オニウシノケグサ、カモガヤ、ナガハグサ、アゼナルコ、ジョウロウスゲ、ネズミムギ、
 ナギナタガヤ、アオカモジグサ、カモジグサ、チガヤ、キュウシュウスズメノヒエ、シマスズメノヒエ、ヒエガエリ

6月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「初夏のイネ科植物」でした。これまであまり注目してこなかったイネ科植物をじっくり観察しました。鳥は子育ての季節で、オオバンやコブハクチョウのヒナ連れを観察しました。



今月の案内人 古川克彌さん 湯瀬一栄さん



① コバンソウの可愛らしい小穂



② 道路脇で見つけたナギナタガヤ



③ 身近で最もよく見られるスズメノカタビラ



④ ネズミムギ (別名イタリアングラス)



⑤ キシュウスズメノヒエ



古川さんの麦のお話

初夏の季語「麦秋 (ばくしゅう)」や六条麦など、身近な麦の話題を通して、小麦と大麦の違いについてお話をしました。



キンシバイの花と葉

湯瀬さんのキンシバイのお話

初夏の代表的な花キンシバイとビヨウヤナギの見分け方についてお話をしました。



⑫ 成熟した花は赤く美しいヒエガエリ



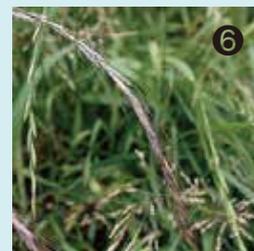
⑪ 背丈が1m以上になることもあるオニウシノゲグサ



⑧ 細長いイモムシのようなシマズメノヒエの小穂



⑦ チガヤの節には毛がはえていることを観察



⑥ カモジグサでイネ科植物の花のつくりを観察

今月の鳥 水辺の植物と水鳥

水辺の植物群落は、オオバンやカイツブリのような水鳥の営巣場所です。

手賀沼の水辺には、水深が浅い場所から順にヨシ、マコモ、ヒメガマの3種の植物が主に生育しています。

近年、外来種のナガエツルノゲイトウが手賀沼の水辺で目立つようになりました。てがたんコースでも船着き場で繁茂する様子が観察されています。



沼から見た手賀沼の岸边



繁茂するナガエツルノゲイトウ